

令和元年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	5	議席 番号	9	氏名	植 松 健 一 議員	1 / 1	
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者	
1	災害発生時の職員の配置について		<p>災害が起きると行政には、市民の安全確保から始まり、情報収集、避難者への対応、復旧とあり、また被災者の生活安定のためのサービスなど次から次へと多くの業務が発生する。またそれと並行して通常の市民生活・活動のための通常業務の再開も必要となってくる。一刻も早く復興していくためには行政として綿密な計画が必要であり、計画に基づいた市職員の効率的な配置や作業が欠かせないと考え。</p> <p>(1) 災害発生直後の被害状況の把握、インフラの安全確認はどのように行うのか。</p> <p>(2) 救援物資の受入・保管・分配についてはどのように考えているか。</p> <p>(3) 災害ボランティアの受入・配置についてはどのように考えているか。</p> <p>(4) 避難所が開設された場合、各避難所への職員の配置についてはどのように考えているか。</p> <p>(5) 避難所の開設が長期にわたった場合の職員の配置についてはどのように考えているか。</p> <p>(6) 各自治会から該当避難所専属の運営責任者をあらかじめ任命し、避難所開設時に運営にあたっていただいてはどうか。</p> <p>(7) 自治会ごとの自主避難所の設置を推進してはどうか。</p>				市長 副市長 関係部長
2	富士宮市の観光の可能性について		<p>富士山が世界文化遺産に登録され6年が経過した。富士山世界遺産センターがオープンし、構成資産等についても整備が行われ世界遺産にふさわしい状況に近づいてきたと感じる。しかしその一方、観光による誘客という点では期待にはまだまだ足りないというのが実感である。富士山を中心としたこれからの観光の可能性について伺う。</p> <p>(1) 当市の観光の現状を総括してどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 当市の観光のこれからの方向性についてどのように考えているか。</p> <p>(3) 浅間大社・富士山世界遺産センター周辺の観光についてどのように考えているか。また再開発を行い宿泊施設や観光施設を誘致することを考えてはどうか。</p> <p>(4) 当市の観光拠点は浅間大社を除き、ほとんどが市街化調整区域である北部地域に存在する。市街化調整区域で開発を行う手法として、都市計画法第34条第2号を運用してホテルや観光施設を誘致することを考えてはどうか。</p> <p>(5) 朝霧高原の売りは何といても富士山と草原の景色である。しかし伸び過ぎてしまった植樹山林や雑木林により富士山や草原が望めなくなっている箇所も多い。また多くの観光拠点においても同じ状況が発生している。そのような山林について整備をして眺望を確保することはできないか。</p>				市長 副市長 関係部長